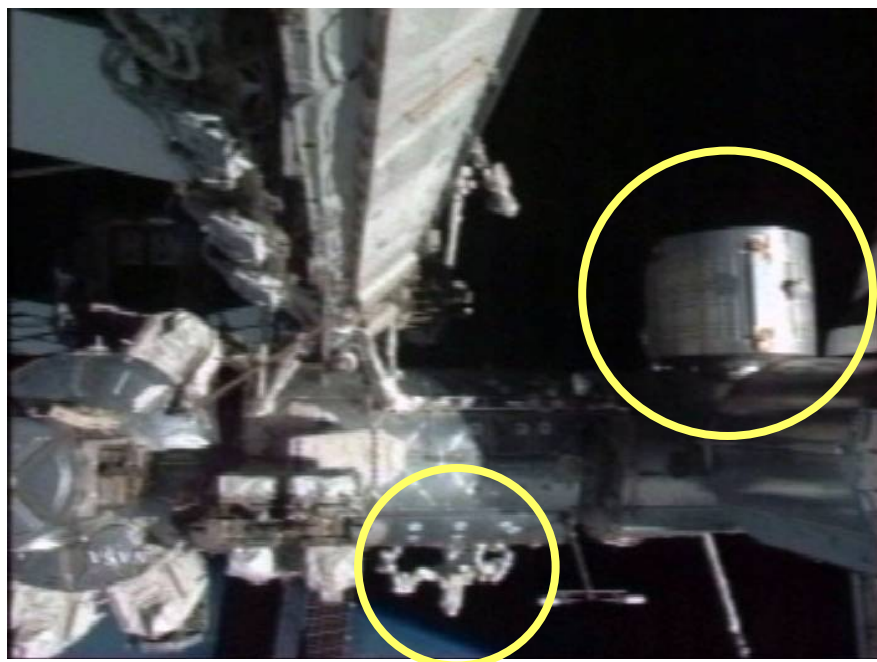




委13-2



# 「きぼう」船内保管室打上げ・ 土井宇宙飛行士搭乗ミッションの結果について



設置された「きぼう」船内保管室と特殊目的ロボットアーム  
(平成20年3月19日撮影)



「きぼう」船内保管室取り付け後の国際宇宙ステーション  
(平成20年3月25日撮影)

(画像提供: NASA)

平成20年4月2日  
宇宙航空研究開発機構  
理事 白木邦明



## ミッションの結果概要(1/3)



1. 3月11日(火)に打上げられた土井宇宙飛行士搭乗のスペースシャトル・エンデバー号(STS-123)は、16日間の飛行中に主に以下の作業を実施し、3月27日(木)午前9時39分にケネディ宇宙センターに帰還し、ミッションを成功裏に完了した。

- 「きぼう」船内保管室の輸送と、第2結合部への設置、起動  
(3月14日に取り付けられ、3月15日に土井宇宙飛行士らが入室。)
- カナダの特殊目的ロボットアーム「デクスター」の輸送、組立、起動、設置  
(第1～3回船外活動により組み立てられた。)

■ スペースシャトルについては、問題となる外部燃料タンクの断熱材剥離や機体の耐熱タイル損傷はなく、打上から帰還まで安全に運航された。

■ 「きぼう」船内保管室の取付、運用について

- 「きぼう」船内保管室は、土井宇宙飛行士らの活躍により、国際宇宙ステーション(ISS)に正常に取り付け、起動された後、「きぼう」船内実験室組立てに向けたラック移設準備作業が完了。
- JAXAは、ISS運用管制の一翼を担い、筑波宇宙センターの「きぼう」運用管制室と、NASA地上管制所やISSとの連携を良好に確立し、運用管制を開始。



船内保管室への入室

(画像提供: NASA)

本資料では、記載がない限り、  
時間はすべて日本時間とする。



## ミッションの結果概要(2/3)



### ■ 土井宇宙飛行士は、本ミッションにおいて、以下の主要な作業を手際良く実施した。

- シャトルロボットアームによる船内保管室の取付、起動、入室
- ラック移設準備などの船内実験室組立てに向けた準備作業
- 船外活動およびスペースシャトル熱防護システム検査時のシャトルロボットアーム操作
- スペースシャトルとISS間の物資移送
- 首相官邸との交信イベント(3月20日)と、軌道上記者会見(3月24日)



首相官邸との交信イベント

### ■ ISSについては、第5回船外活動にて、右舷太陽電池パドル回転機構(SARJ)の追加点検を実施し、不具合原因究明に必要な画像データを取得した。

### ■ 本ミッションにおけるその他の作業

- スペースシャトル耐熱タイルの損傷修理試験(3月21日の第4回船外活動)
- センサ付き検査用延長ブームのISSへの仮置き(3月23日の第5回船外活動)

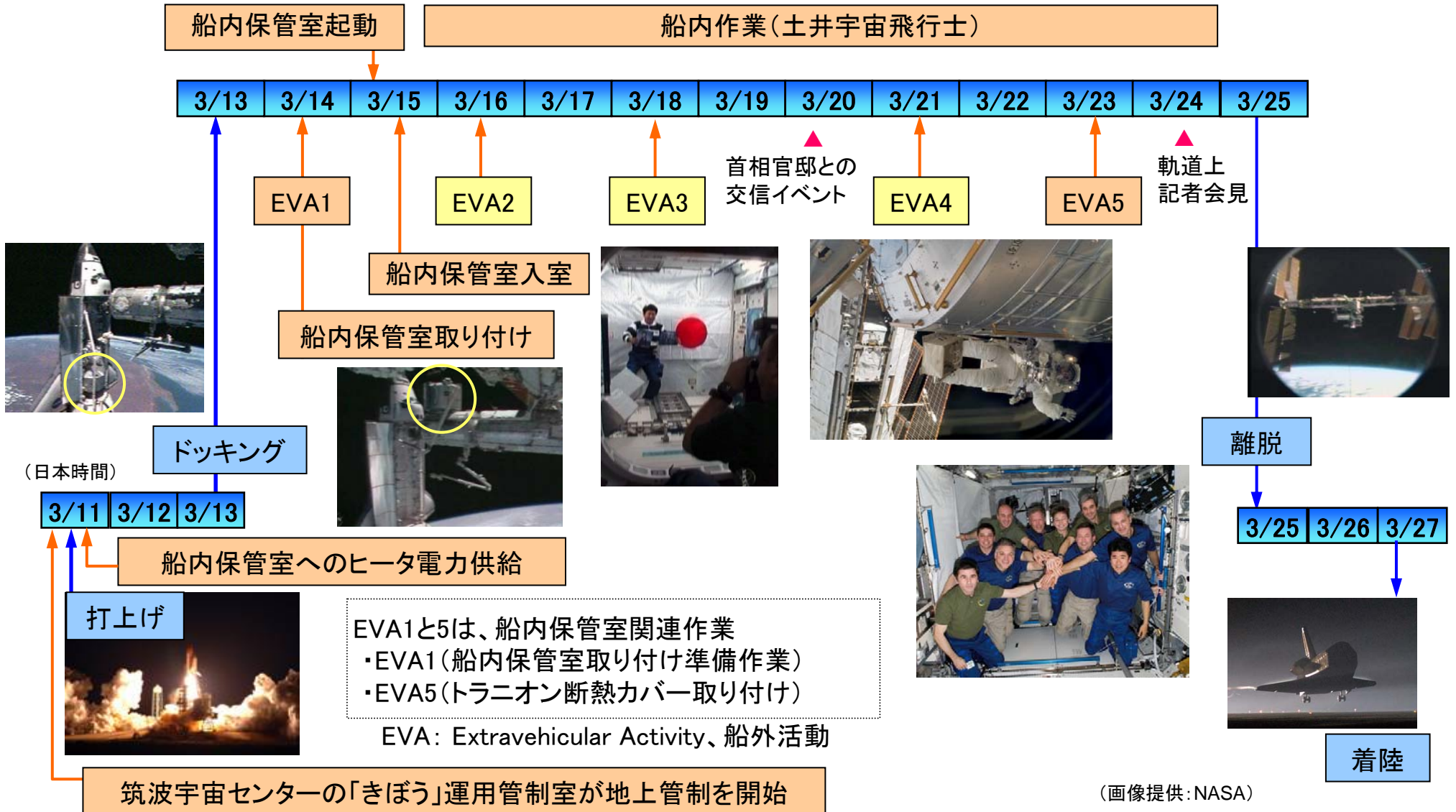


シャトルロボットアームの操作を行う土井宇宙飛行士

(画像提供: NASA)

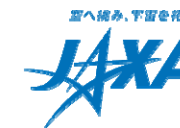
2. JAXAは、日本人搭乗員の安全が確保されていることを、スペースシャトル及びISSの各ミッション管理会議参加等により確認した。

# ミッションの結果概要 (3/3)





## 【参考1】 ミッション期間中のJAXAの主な広報活動



- 首相官邸との交信イベント（3月20日（木）午前8時10分から23分間）
  - 軌道上の土井宇宙飛行士、ゴーリ船長、ウイトソンISS船長と、福田総理大臣、渡海文部科学大臣、甲府市立東中学校の生徒（5人）が交信。司会は向井宇宙飛行士。
- ミッション中のインターネット生中継
  - JAXAから、主な軌道上イベント時に、NASA TVに日本語解説を付けてインターネットで生中継配信。
- 街頭大画面ビジョンでの打上げライブ中継
  - 打上げ生中継を新宿で実施。また、ミッション期間中、全国7箇所（新宿、銀座、秋葉原（2ヶ所）、札幌、大阪、福岡）の街頭ビジョンで、1時間に1～2回、1分間のミッションハイライトを上映。
- JAXA記者会見
  - ＜ケネディ宇宙センターにて＞
    - 打上げ後記者会見（参加者：池上宇宙開発委員会委員、  
林文部科学審議官、立川理事長など）
    - 着陸後記者会見（参加者：間宮副理事長など）
  - ＜筑波宇宙センターにて＞
    - 着陸後記者会見（参加者：長谷川ISSプログラムマネージャなど）
- JAXA記者説明
  - 打上げから着陸まで、記者説明会をJAXA東京事務所（ほぼ毎日）およびヒューストン（随時）にて実施。

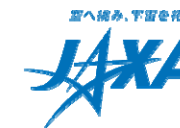
報道実績（3月）
・新聞：15紙、285記事
・テレビ報道：約440回
・ホームページ： 約320万アクセス（通常の4倍）
・インターネット生中継： 約12万アクセス
・街頭ビジョン視聴者： 約1万～2万人（推定）

【参考】 土井宇宙飛行士等は、以下のNASA記者会見等にも参加

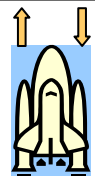
打上前クルー記者会見、軌道上共同記者会見、着陸後クルー記者会見、ヒューストンでの帰還記念式典



# 【参考2】 今後の「きぼう」組立てミッション



土井隆雄



STS-123 (1J/A)

平成20年3月11日打上  
3月26日帰還

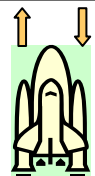


船内保管室

現在



星出彰彦



STS-124 (1J)

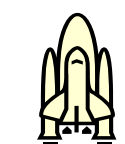
平成20年  
5月31日



船内実験室、  
ロボットアーム



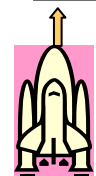
STS-125  
ハッブル  
修理



STS-126 (ULF2)  
補給  
フライト



若田光一



STS-119 (15A)  
太陽電池  
パネル組立  
12月4日以降



STS-127 (2J/A)  
平成20年度末



船外実験プラットフォーム、  
船外パレット

本ページの日時は、  
米国時間とする。

- 平成20年2月に、NASAケネディ宇宙センター(KSC)にて、NASAへの引き渡し完了。
- NASAにより、4月下旬以降にシャトルへ搭載予定。



- 筑波宇宙センターにおいて輸送準備中。
- 平成20年夏頃、KSCへ輸送予定。

